



# かとり議会だより

第17号  
平成22年5月15日

☆市政のここがききたい .....P2~P5  
☆予算審査特別委員会から .....P5~P7  
☆各常任委員会から .....P8~P9

☆選任・選出された各委員会の委員・各組合議会の議員 .....P9  
☆上程議案等議決結果 .....P10  
☆2月9日臨時会 .....P10

## 3月定例会

# 22年度予算など39議案等を可決・同意

## 議長に金親孝夫議員 副議長に高岡正剛議員を選出

平成22年3月定例会は、2月24日(水)から3月18日(木)までの23日間にわたって開かれました。

市の提出議案は、一般会計と特別会計(10会計)及び公営企業会計(2会計)の13会計の予算額504億9181万4千円で、前年度比で6億1964万3千円、1・2%の減、一般会計は288億円で、前年度比4億3000万円、1・5%の増となる平成22年度各会計予算が13件、平成21年度各会計補正予算が7件、条例の一部改正等が10件、諮問6件、発議案3件の39件であり、すべてを可決・同意されました。

議長に金親孝夫議員が副議長に高岡正剛議員が当選しました。続いて、議会運営委員会・各常任委員会委員の選任が行われました。次に、千葉県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙、各種協議会等委員の選出が行われました。

2月26日は初めに、議会改革検討特別委員会委員2名の補欠選任、香取広域市町村圏事務組合議員2名及び香取市東庄町病院組合議員2名の補欠選挙、香取市都市計画審議会委員1名の補欠選出が行われました。続いて、平成22年度の一般会計、各特別会計及び企業会計予算にかかわる議案第1号から第13号を議題とし、3名の議員から質疑の後、委員8人(5員に掲載)で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに審査を付託しました。

2月24日は市長より、平成22年度の各会計予算、平成21年度各会計補正予算、など議案第1号から第29号、諮問第1号から第6号についての提案理由が述べられました。また、各会計補正予算の案件について、事務事業の年度内執行確保のため、2月26日に先議の申し出がありました。その後、田山一夫議長、菱木康夫副議長の辞職許可に伴う後任の選挙が行われ、

また、先議の申し出があった平成21年度各会計補正予算にかかわる議案第14号から第20号を議題とし、3名の議員から質疑の後、委員会付託を省略し、採決を行った結果、いずれも可決されました。次に、各種条例の改正等にかかわる議案第21号から第29号を議題とし、所管の各常任委員会に審査を付託しました。続いて、今期定例会で受理した陳情5件については、陳情第41号、第42号、第45号は総務企画常任委員会へ、第43号、第44号は経済環境常任委員会に審査を付託しました。

引き続き、陳情第41号から第45号を議題とし、総務企画常任委員長及び経済環境常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、採決を行った結果、陳情第41号から第44号は不採択とすることに決しました。次に、成田国際空港対策特別委員会及び議会報編集特別委員会委員長報告の後、議案第1号から第3号を議題とし、提出者より提案理由の説明が行われた後、採決を行った結果、いずれも可決されました。



水の郷さわら

### 3月定例会の日程

2月	
24日(水)	本会議
26日(金)	本会議
3月	
1日(月)	予算審査特別委員会
2日(火)	予算審査特別委員会
3日(水)	予算審査特別委員会
5日(金)	総務企画常任委員会 福祉教育常任委員会
8日(月)	建設常任委員会 経済環境常任委員会
11日(木)	本会議(一般質問)
12日(金)	本会議(一般質問)
18日(木)	本会議

18日は初めに、議案第1号から第13号を議題とし、新年度予算について予算審査特別委員長から委員会における審査内容・結果を報告し、討論の後、採決を行った結果、いずれも可決されました。(予算審査特別委員長報告の主な質疑等の要旨を5〜7頁に掲載)

また、議案第21号から第29号について各常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、討論

の結果、いずれも可決されました。

### 就任のごあいさつ



高岡 正剛 副議長



金親 孝夫 議長

いづいざいます。

さて、香取市も合併して5年目を迎えました。厳しい財政状況の中で、取り組むべき課題が山積しております。

それらの解決のためにも更なる行財政改革を推し進め、その中で積極的な議論を交わし、広く市民の皆様への負託にお応えできるよう最大限の努力をして参ります。

また、予算執行にあたりまして、市民の皆様への声を十分に反映させた施策を有効かつ効果的に執行させていくことも、重要であると考えております。

市民の皆様におかれましては、引き続き、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

# 一般質問 市政のことがききたい。

一般質問は、市長などに市政全般について疑問点や方針などをただすものです。3月定例会市議会では2日間、9人の議員が質問に立ちました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

## 佐原、山田、栗源、小見川区の重点事業は何か

高木 寛 議員

**問** 香取市は、旧1市3町の均衡ある発展を目的に、全国的にも珍しい自治区制度を導入している。そこで、平成22年度おける各区の重点事業とその予算額は。

**答** 佐原区は佐原駅周辺整備事業等9億4192万9千円、小見川区は



水の郷さわらのオープニング

**答** ①市道改良事業、佐原駅周辺整備事業、防災行政無線システム統合事業、学校給食センター統合整備事業、(仮称)香取市小見川市民センター整備事業である。②合併特例債を借り入れる予定である。

## 合併特例債の活用状況について

**問** 合併特例債は、借入額の7割を国が負担する合併の最大のメリットであり、香取市の活性化や発展には不可欠である。そこで現在までの活用状況は。

**答** 地域振興基金として18年度から20年度まで各年度10億円、3年間で30億円の積み立てを行っている。

**問** 宇井市長が常々申している「香取市の一体感の早期醸成」を図る意味からも、この合併特例債を今後どのような事業に活用するのかが。

**答** 施設の統合整備事業などに特例債活用を最優先に検討したい。

## 保育所の統廃合は、市場原理にゆだねず市の責任で

坂本 洋子 議員

**問** 14カ所の保育所を10カ所にする案がだされたが地域に根ざした保育所は父母の声を十分に聞き進めたい。

**答** 公立として整備すべきでは。保護者の皆様と地元との合意形成により進めたい。



## 香取市職員定員適正化計画について

**問** この計画は、合併時の職員921人を平成25年度までに800人に削減するものであり、私は香取市の行財政改革の中心をなすものと評価している。現在までの推進状況と今後の推進計画は。

**答** 平成22年4月の職員数を810人と見込んでいます。定員適正化計画の見直しを検討したい。

**問** 職員が少なくなれば市民サービスの低下が懸念されるが、その対策は。また職員の働きやすい環境づくりや、意識の高揚を図る対策は。

**答** 人事評価制度のもとで職員間の意思の疎通を図り、意欲を持って職務を遂行できる職場環境の創造に努めたい。



香取保育所

## 高すぎて払いたくても払えない国保税の軽減策を

**問** 県内でも高位置にある国保税のため滞納世帯が増加している。18歳までと高齢者に正規の保険証を発行し、一般会計からの繰入と繰越金の活用で値下げすべき。

**答** 歳入歳出の動向を見ながら、毎年度、税率については検討したい。

## 地域病院撤退構想を許さず公立病院の存続は市民の願い

**問** 千葉県地域医療再生計画で示された県立佐原病院と小見川総合病院の一体化とは。

**答** 県は単に建物等の統合を表すものではなく、

り込みを進めたい。②合併後10年間、その後5年間の激変緩和措置になる。③安全で安心して飲める水道水のPRを行い、加入促進を図りたい。④区域拡張が可能なかどうか調査研究をした。⑤25年の国の認可取得時に、事業費及び水道料金等の検討をしたい。

**問** 審議会委員、管理職など政策決定に女性の参画の割合を高め、あらゆる場で「男女平等」社会実現のため、施策の推進の継続と広報活動の充実で実効ある男女共同参画計画に。市の施策や方針を決定する審議会などへの女性の登用を高めたい。

## 旧小見川文化会館約18億8千万円、24年5月より使用可

吉川 昭治 議員

**問** 恒例の水郷おみがわ花火大会は開催されるのか、総予算と助成金ほどの位か。

**答** 花火大会は実施する。水郷小見川観光協会特別事業補助金730万円のうちから約470万円の

**問** 予算を見込んでいます。香取市府馬奥の堆の官民土地境界裁判と市が訴えられている不動産侵奪事件の進捗状況は。

**答** 平成22年3月23日に判決の言い渡しがある。千葉県地方検察庁で2回



水郷おみがわ花火大会

の任意事情聴取と関係書類の提出をした。

「小見川文化会館」新設なる

小見川文化会館は、約18億円の予算で新設、平成24年5月より使用できると聞いているが概要説明を求め。

市民説明会で意見、要望をいただいた。可能な部分について、基本設計に組み入れた。施設内容について、いろいろな機会ですべてPRしたい。

合併時に取り交わされた小見川区の新市建設計画は23項目あるが速やかに全工事が完成されることを願うが如何なものか。

総合計画の積極的な推進を通じて、新市建設計画の進捗を図りたい。

指名入札について去る12月8日議会での建設部長答弁は閣議決定によれば云々とのことだったが、あの答弁は議会をぐるうしている。小規模業者の育成をどう諮るのか。

工事に對する地理的条件、地域の施工特性等に精通した地元業者の選定を考慮しながら、引き

続き市内業者の育成、受注機会等に努めたい。

小見川中学校横を下る市道と小見川高校を下る市道の交差点付近は極めて危険だが、安全対策はいかに。

路面表示などの交通安全施設の設置と高

校生への交通安全指導を実施する。樹木の管理については、住民の皆様と協働し、適正な道路管理に努めたい。

①62施設のうち設立5、検討中13、改修費等の試算中16、意向調査中8、利用しないが20施設である。②内容等は、まだ決定していない。

今年度は国民読書年ですが①市立図書館の運営方法は、また②学校図書室充実が次世代の香取を担う市民をつくり出す上で重要な事業であるが計画は、

①市内4つの読書施設を拠点とする全体的な図書館サービス体制の構築、図書館機能の整備と拡充、国内図書館との連携の強化を目指したい。②冊数の増加や、情報が古くなった図書の見直し、利用しやすいものとするために、図書購入の予算額の確保に努めていきたい。

香取広域市町村圏事務組合に、柔軟な対応ができるよう要望したい。

身体の不自由な皆さんへの配慮について、市の諸制度を積極的にPR願いたい。

相談者の立場にたった対応に心がけ、必要な支援に努めたい。

黒部川の汚染度等大々的にPRせよ。

関係課と協議し、市民にわかりやすくPRに努めたい。

たな方針を発表し、共聴施設の改修費支援、維持管理費の支援を打ち出したが具体的内容は、

宇井 正一 議員

乳幼児医療費の助成制度は、県は小学校3年生まで拡大を決めたが、香取市は中学校卒業までの拡大をめざすべきではないか。

県の制度改正を踏まえ、対象年齢の拡大に向けて方針を定めたい。

学校の統廃合は、小規模校の良さをいかすが国の方針

学校統廃合について国は「小規模校には

人間のふれあいや個別指導の面で教育上の利点もある

ので、地域的意義も考えて、地域住民の理解と協力を得て検討せよとの通達を出しているが市の考えは。

集団学習を可能とする学校再編は必要と

考えている。また学校は、地域社会と連携して教育を進めているので、学校再編を進める上で、地域の意向を十分に尊重したい。

山田区・栗源区に都市計画区域の指定がされたら、建築確認の申請は増改築の場合既存の家屋もあわせて建築確認が必要になるのか。

山田区・栗源区に都市計画区域の指定がされたら、建築確認の申請は増改築の場合既存の家屋もあわせて建築確認が必要になるのか。

佐原中学校校舎の追加請求

2千万円は業者責任だ

久保本宗一 議員

体育館の屋根を支える立体鉄骨トラスの組み立てが、設計では地上(地上面)で組み立て、クレーンで屋根裏まで持ち上げ設置し、吊り足場で完成させることになっていた。作業の安全性を確保すると

いう理由で内部枠組み足場による空中での組み立てに変更し、内部枠組み足場の増設したことにより工事費の増額になったとのことだが誰が考えても地上での組み立てのほうが空中での組み立てより安全である。安

責任の所在を明確にする

責任の所在を明確にし、責任を取るべきものが責任をとるようになればなりません。契約では、設計にミスがあれば設計業者が責任を取り、施工業者に瑕疵があれば施工

責任の所在を明確にし、責任を取るべきものが責任をとるようになればなりません。契約では、設計にミスがあれば設計業者が責任を取り、施工業者に瑕疵があれば施工

責任の所在を明確にし、責任を取るべきものが責任をとるようになればなりません。契約では、設計にミスがあれば設計業者が責任を取り、施工業者に瑕疵があれば施工

責任の所在を明確にし、責任を取るべきものが責任をとるようになればなりません。契約では、設計にミスがあれば設計業者が責任を取り、施工業者に瑕疵があれば施工

責任の所在を明確にし、責任を取るべきものが責任をとるようになればなりません。契約では、設計にミスがあれば設計業者が責任を取り、施工業者に瑕疵があれば施工

香取市の全額負担は税金の無駄遣いだ

設計の誤りというところであれば、設計業者に損害を請求するべきであり、設計のミスでなければ、施工業者が責任を取るべきではないか。香取市が追加請求の金額を全額支払うというのは、税金の無駄遣いではないか。

発注者である市が設計監理者に指示し、施工がより安全に効率よく進むため変更したものであり、設計業者の当初設計の考えに誤りがあるものとは言えない。

上水道・水道管の石綿セメント管の残存率について

伊藤 友則 議員

上水道・水道管の石綿セメント管の①残存率と、②今後の改修計画について

①水道管総延長の23%になる。②年間3kmを目標とし、限られた経費で施工距離の延伸を図りたい。

市内保育所の預かり時間帯の詳細は、朝7時から夕方6時30分までが3カ所、夕方7時までが3カ所の6カ所である。

保育料滞納の現状と、その対応と対策は、2月末現在、現年度分徴収率は98・66%である。また、振替不能世帯には保育所経由等による督促や電話催告、臨戸徴収を実施している。

伊藤 友則 議員



市道I-57号線(山田区长岡地先)



佐原中学校屋内運動場



石綿セメント管の撤去作業

**問** 現在保育所におけるカリキュラムの特徴と、教育時間は、

**答** 発達に応じた保育を行っている。近年保護者から寄せられる要望やニーズで変化があれば伺う。

**問** 延長保育、休日保育、病児・病後児保育のニーズが高まってきている。昼食と昼寝、歯磨きの詳細は。

**答** 3歳未満児までは完全給食、3歳以上児は持参している。昼寝は、給食後、歯磨きを行った後、午後12時30分から2時間程度を充てている。

**問** 小学校での外国語活動の進捗状況は。

**答** 平成21年度に小学校23校中12校が5・6年生で外国語活動を先行実施した。

**問** 指導力不足の教員の不安に対して、授業視察などの詳細はどうなっているか。

**答** 研修会の実施や指導主事による指導・助言するなど、教師や学校への支援に努めている。

**問** 小学6年生における、私立中学校受験の合格数は。

**答** 小学校23校中10校、31名が受験し、25名が私立中学へ進学する。

### 香取市消費生活センター設置で消費者相談窓口強化

田代 一男 議員

**問** 平成20年度の香取市民の消費生活相談は274件。借金や訪問販売、悪徳商法などの消費生活に関するトラブルが増加している。今後の消費生活相談

事業の計画はどのようになっているのか。

**答** 平成22年度からは消費生活相談員による相談日を週3日に拡充した。また、相談員の研修参加、啓発用リーフレット等の作成などにより相談業務の充実強化に取り組む。

**問** 更なる消費生活相談窓口の強化が必要である。消費生活相談日を増やし、香取市消費生活センターの設置が欠かせないと考えるが見解を伺いたい。

**答** 平成22年度から週3日の相談を実施することで相談しやすい環境を整うので、今後の相談件数の推移を見守りたい。

**問** 子ども医療費助成の無料化について

**答** 千葉県が平成22年度実施する「子ども医療費助成」(これまでの乳幼児医療費助成の対象を小学3年まで拡大、自己負担を300円とするもの)において、香取市で自己負担をなくし無料化できないか。

**答** 子育てのまちにふさわしい支援制度の充実、拡大に向け、関係部署と十分協議したい。

**問** 香取市内の特別養護老人ホームへの入所待機者は280名で、多くの方が早期の入所を待っている状態である。待機者解消に向けた実施計画はあるのか。

**答** 香取市内の特別養護老人ホームは、入所待機者が増加傾向にある。関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 現在市内の2つの施設が増改築を予定しているが、県と協議中である。これが整備されますと定員が64人増加となる。香取市見守りネットワーク事業で配布される「救急医療情報キット」の配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。



香取市見守りネットワークシール

**問** 現在市内の2つの施設が増改築を予定しているが、県と協議中である。これが整備されますと定員が64人増加となる。香取市見守りネットワーク事業で配布される「救急医療情報キット」の配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 香取市見守りネットワークの配布対象を救急通報時と共に、災害時対策の観点からも災害時要援護者に拡大できないか。

**答** 関係部署等と十分協議、検討したい。

**問** 教職員の人權教育の推進や特別支援教育についての理解を促すため、研修会を増やして指導力の向上と意識改革に努めます。指定管理者制度の導入状況と今後の進め方について

**答** 指定管理者の①導入状況と②有形・無形効果について

**問** 指定管理者の①導入状況と②有形・無形効果について

**答** ①福祉関係施設など10箇所である。②サービスの向上が図られた。また、人件費の削減で約1億3千万円が削減された。

**問** 今後の対象事業にはどんな事業があるのか。

**答** ひまわり苑デイサービスセンター及び養護老人ホームひまわり苑に導入するため、事務を進めている。

**問** 住民サービス向上や効果が期待される事業は、積極的に導入すべきと思うが、導入に当たっては利用者の目線で考えていただきたい。

**答** 導入効果等を精査し、適宜に指定管理者への移行を進めたい。

**問** 香取市の水道料金は県下で5番目と高い①その理由は。また②料金を安価にする施策の進捗状況は。

**答** ①水需要が計画どおり伸びず、建設費に對して料金収入が少なく、施設利用効率が低いためである。②平成25年度以降の整備事業と財政収支計画の

**問** 教育委員会は幼児・児童・生徒に対し、障害児への優しさや思いやりを育てるノーマライゼーションへの教育をどの様に考えているのか。

**答** 山田区にある「NPO法人コスモスの花」に支援をいただきながら、この地域にあるべき姿を目指したい。

**問** 山田区にNPO法人「コスモスの花」

**答** 山田区にNPO法人「コスモスの花」

**問** 介護支援の充実を目指しての市の取り組みについて

**答** 介護保険申請から認定までの期間が長い。早急にサービスを利用したい方が、困っている現状がある。調査認定までの期間は、また期間短縮はできないのか。

**問** 介護保険申請から認定までの期間が長い。早急にサービスを利用したい方が、困っている現状がある。調査認定までの期間は、また期間短縮はできないのか。

**答** 申請時に調査日、立会い者及び調査員等を早期に決定し、本庁と各区事務所との連携による調査を行っている。また、医師の意見書は提出期限を設定している。

**問** 認知症を予防し、介護予防で元気な高齢者をつくるための施策として介護予防策の拡充を図るべきと考えますが、現在行っている予防策の現状と課題は。また閉じこもり認知症

**答** 認知症のサポーター講座を開催し1850人を要請した。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。



ひまわり苑デイサービスセンター

### 介護支援の充実を目指しての市の取り組みについて

小川 春雄 議員

**問** 介護支援の充実を目指しての市の取り組みについて

**答** 介護保険申請から認定までの期間が長い。早急にサービスを利用したい方が、困っている現状がある。調査認定までの期間は、また期間短縮はできないのか。

**問** 介護保険申請から認定までの期間が長い。早急にサービスを利用したい方が、困っている現状がある。調査認定までの期間は、また期間短縮はできないのか。

**答** 申請時に調査日、立会い者及び調査員等を早期に決定し、本庁と各区事務所との連携による調査を行っている。また、医師の意見書は提出期限を設定している。

**問** 認知症を予防し、介護予防で元気な高齢者をつくるための施策として介護予防策の拡充を図るべきと考えますが、現在行っている予防策の現状と課題は。また閉じこもり認知症

**答** 認知症のサポーター講座を開催し1850人を要請した。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**問** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。

**答** 介護保険料に対する負担感が増し、上げないでほしいという声がある。



介護保険の申請風景

の開催を目指したい。  
**問** 文部科学省の調査で、子どもの体力低下が心配されているが、子供の体力向上についての取り組みは。

**答** 教育活動全般にわたって運動に親しむ機会を充実させている。

**住民サービスについて**

**問** コンビニエンスストアーでの住民票の写しと印鑑登録証明書の交付ができるようにならないか。

**答** 住基カードの普及など多方面から検討を重ねて判断したい。



**子育て支援について**  
**問** 香取市の伝統文化を受け継いでもらうため、放課後子ども教室事業拡充をどの様に考えているのか。

**答** 短期間の出前教室を多く開催し、地区におけるボランティアの情報を収集、発掘に努め、通年型

### 予算審査特別委員会の審査から

平成22年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計予算等の各予算は、予算審査特別委員会で審議しました。その審査内容と結果は、最終日に委員長から報告があり可決しました。報告の中の主な質疑や指摘・要望事項等の要旨は次のとおりです。

予算審査特別委員会委員	
委員長	林 信行
副委員長	谷田川充丈
委員	田代 一男
委員	奥村 雅昭
委員	鈴木 和彦
委員	眞本 丈夫
委員	平松大建明
委員	根本太左衛門

機構改革を行ってきたが、地域自治体制度については、合併後5年を目安に見直すことが取り決めをされている。今後どのような過程を経て協議検討されるのか。

**答** 自治体制度については、5年を目安に見直しをすることになっている。新年度予算にまちづくり条例の制定に係る経費が計上されており、新たなまちづくりの条例を制定する過程のなかで、香取市の一体

**総務部関連の事項**  
**問** 市の機構改編について、これまで数度の

感の醸成の観点から自治体制度の見直しを進めたいと考えている。

**問** 地域自治体制度の見直しと、まちづくり条例の制定がどの様にかかわりを持つか。

**答** まちづくり条例の制定を検討するなかで、間接的に自治体制度との整合性や調整作業も生じてくると考えられる。

**問** 電波遮へい対策事業費補助金1億240

万円の事業概要は、テレビ共同受信施設の改修については、成田国際空港株式会社管理する共同受信施設は市内に63カ所あり、そのうち52カ所が国の補助対象施設となる。その内訳は、補助対象額400万円の施設が36カ所、380万円の施設が16カ所、これらの合計額2億480万円の1/2が国庫補助金として、事業を実施する団体へ交付される。また、残りの11カ所は、改修工事が50万円以下の小規模施設であることから、国の補助対象外となる。なお、改修費のうち国からの補助金を差し引いた部分や国の補助対象外となった施設の地元住民の負担分については、放送事業者であるNHKの補助制度があり、一世帯当たり7千円の負担で電波遮へい対策事業を行うことができる。



共同受信施設

**問** 新年度は、市長選挙、参議院議員選挙が予定されている。これに従事する職員の時間外手当等の選

挙経費削減のため、翌日開票とする考えはないか。

**答** 市民も候補者も一刻も早い選挙結果を求めており、時代のすう勢としても即日開票の方向にあることから、経費の削減については、開票事務の効率化等による方法を検討したい。

**企画財政部関連の事項**  
**問** 市税の徴収状況はどのようになっているか。また、子ども手当の支給実施に当たって、その財源を所得税における扶養控除の廃止によって賄うと聞いているが、これによる住民税への影響があるか。

**答** 平成20年度決算による徴収率は、一般市税合計で、現年課税分が95・82%、滞納繰越分が10・87%、合わせて82・32%である。また、子ども手当の支給に伴う所得税の扶養控除に係る制度改正は平成23年分からであり、市民税への影響は平成24年度分からとなるので、平成22年度の市民税については影響がない。

**問** 市税の滞納処分費の内容と処分の執行状況は。

**答** 予算には、不動産等の差押え物件に係る鑑定委託料、平成20年度から実施のインターネット公売の利用料を計上した。今年度の差し押さえの実績は、本年2月28日現在、328件であり、公売実績では、

平成20年度はインターネット公売により、住宅1棟を395万円で処分した。

**問** 小見川用地活用推進事業について、この土地の譲渡関係について千葉県との協議は進んでいるか。

**答** 小見川用地は、旧小見川町と千葉県土地開発公社の間で譲渡に係る協定書を取り交わしている。用地の譲渡に伴う所有権移転については、一部農地があることから手続きに支障を生じていたが、この程、これらの農地は耕作放棄地であることから非農地として認定され、仮登記についても手続きが進められる。また、当該用地部分と民地部分の境界の確定作業も進めている。

**問** 多田の工業団地用地について、前市長の時代から千葉県と香取市の間で市への無償譲渡の協議がされていたが、現在の状況はどうなっているか。また、県企業庁は、他企業への売却を考えているとの話も聞くが、真意はどうか。

**答** 旧多田工業団地の予定地については、県企業庁と市で協議中であり、企業庁は、香取市へ無償譲渡するには、市の利用計画について納得できるプランを示して欲しいとの意向である。また、これまでの協議の中では、香取市以外に売却するとの話は一切なく、県の第一方針としては、地元市において公的な利用に使用していただきたいと考えている。



佐原工業団地 (多田工業団地)

場所が必要であり、その用地の問題から検討を行う必要がある。今後、地元住民と協議をしながら進めていきたい。

**問** 市債の発行状況について、一般財源に係る市債が3億9390万円の増額、特定財源に係る市債が12億2900万円の減額となっているが、その詳細は。

**答** 前年度との対比において、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行額は年々増加し、現在の残高は総額107億円ほどになっている。また、市債の発行は、前年度に償金免除による繰り上げ償還に伴うものがあり、この部分が新年度はないことから減額となっている。なお、特定財源の市債発行額は、約13億円で、そのうち約半分は、合併特例債6億4千万円ほどを予定し、その他はいわゆる建設事業債である。

**問** 今後の循環バス運行経費の推移をどのように見込んでいるか。また、運行経路の見直しは考えているか。

**答** 循環バスの運行経費としては、佐原区の本格運行に伴う業務委託経費と小見川区で行われている実証運行に伴う業務委託経費を計上している。今後、小見川区で本格運行へ移行しても、バスの台数等に変更がない限り、現在の経費程度で推移するものと考えている。また、運行経路の変更は、佐原区大戸地区の住民から、国道356号から大戸神社方面を経由するよう要望があることは承知しているが、大きな転回

**問** 市としての財源確保の手段はあるか。

**答** 現下の経済状況から企業誘致等は思うように進んでいないが、成田国際空港の発着回数が本年3月から年間22万回となる。これに伴う雇用需要の増加が見込まれ、成田国際空港株式会社との空港関連企業へ香取市からの職員採用を要請し、また、関連物流企業への香取市への進出についても併せて要請をしている。今後、成田国際空港及び周辺の関連企業等への働き

かけを行っていききたい。

**問** 地域振興基金の運用について、大阪府公債を平成19年度に10億円、20年度に10億円購入し、定期預金の10億円と合わせて基金残高は30億円となる。

**答** 基金運用は、確実かつ有利な方法で行うことになっており、地域振興基金の30億円については、指摘のとおり定期預金と公債購入による運用を行っている。市場金利が低い状況にあることから、今後、定期預金運用分についても、地方債のなかで比較的高い金利となっている大阪府公債等の購入による運用を検討したい。

**市民環境部関連の事項**

**問** 防犯灯の設置及び電気料等の取扱いについては統一ができたのか。また、青色LED灯の1灯の設置金額と設置のメリットは。

**答** 本年度中に佐原区の防犯灯台帳の整備が完了し、管理については統一できた。また、青色LED灯の1灯の設置金額は、平成21年度の入札価格を設けずで除すると約3万円である。メリットとしては、犯罪抑止と自殺防止効果があるといわれている。

**問** 小中学校周辺の防犯灯を青色LED灯に切り替えるとしているが、対象は市内の全小中学校なのか。また、各自治会から既設の防犯灯を白色灯から青色LED灯に切り替えの要望があった場合、市の負担でできないか。

**答** 平成21年度予算で、小見川、山田、栗原区の小中学校周辺の防犯灯の切り替えは終了した。平成22、23年度で佐原区の切り替えを行いたい。また、各自治会に設置されている防犯灯を青色LED灯に切り替える場合の市の経費負担は考えていない。

**問** 観光船を利用した観光客から、小野川の水が汚く不評を買っている。臭防止の対策をしているのか。

**答** 水質検査は、毎月行い、BOD、SS、透視度等も基準内である。透視度は平成21年4月までは30cmだったが、5月以降は50cmまで透視できるようになった。また、臭気については、河川管理者である県及び関係課と協議したい。

**問** 指定ゴミ袋が本年4月1日から統一されるが、ごみ袋の発注先に対し、袋の製造過程における梱包作業等を香取市内の福祉作業所等へ委託するよう要請できないか。

**答** 4月からは、これまで市が発注していた佐原区、栗原区のゴミ袋も香取広域市町村圏事務組合で一括発注することになる。同組合へ相談したが、発注先が中国であることから、今回は難しいとの回答であった。

**問** 引き続き要望は伝えたい。引き続き要望は伝えたい。佐原・栗原区では本年4月からビン・缶の搬出は、別々の指定袋で出すことになるが、伊地山クリーンセンターでは、従来からビン・缶が混入した袋を自動選別機により支障なく処理している。また、仁良清掃工場でも、昨年10月から市民がビン・缶を分別して搬入した袋を混在のまま手作業による選別を行っている。ビン・缶の袋を分別するメリットは何か。

**答** ビン・缶に分別することで減量化、資源化が図られ、袋の有効活用ができると考えている。

**問** 仁良清掃工場での危険な手作業によるビン・缶分別作業は、収集日の調整を行うことで、伊地山クリーンセンターに一本化して自動選別機での処理が可能と考える。また、市民がビン・缶を分別した搬出物を、清掃工場では混在投入し選別するのでは、意味のない分別となり、この分別はやめるべきである。市内のビン・缶の分別については、構成市町の理解を得ながら方向性を定めたいと考えており、平成23年度に成田市が同組合を脱退する時点の一つの契機にしたい。

**問** 9万3千円について、どこを改修するのか。

**答** みずほふれあいセンターは、昭和61年4月に建設以来23年が経過し、老朽化が進んでいることから、外壁の雨漏り修理、トイレを和式から洋式へ取り替え、空調設備の改修を行うものである。



みずほふれあいセンター

**健康福祉部関連の事項**

**問** 児童手当と子ども手当の相違点は何か。

**答** 児童手当は、小学校修了前の子どもを養育している方に支給されるもので、子ども手当は、中学生までの子どもの保護者に支給するものである。児童手当には所得制限があるが、子ども手当にはない。

**問** 児童手当支給事業について、事業費8826万1千円のうち、平成22年度児童手当支給分の金額と財源内訳は。また、子ども手当支給対象者は何名か。



新島小学校

**答** 児童手当と子ども手当の相違点は、児童手当は所得制限があるが、子ども手当にはない。

**問** 児童手当支給事業について、事業費8826万1千円のうち、平成22年度児童手当支給分の金額と財源内訳は。また、子ども手当支給対象者は何名か。

**答** 児童手当は、小学校修了前の子どもを養育している方に支給されるもので、子ども手当は、中学生までの子どもの保護者に支給するものである。児童手当には所得制限があるが、子ども手当にはない。

**問** 児童手当支給事業について、事業費8826万1千円のうち、平成22年度児童手当支給分の金額と財源内訳は。また、子ども手当支給対象者は何名か。

**答** 児童手当は、小学校修了前の子どもを養育している方に支給されるもので、子ども手当は、中学生までの子どもの保護者に支給するものである。児童手当には所得制限があるが、子ども手当にはない。

**問** 児童手当支給事業について、事業費8826万1千円のうち、平成22年度児童手当支給分の金額と財源内訳は。また、子ども手当支給対象者は何名か。

**答** 児童手当は、小学校修了前の子どもを養育している方に支給されるもので、子ども手当は、中学生までの子どもの保護者に支給するものである。児童手当には所得制限があるが、子ども手当にはない。

**問** 今後の中学校単位の設置を検討したい。

**答** 女性特有のがん検診推進事業について、事業費が平成21年度ゼロであるが、新規事業なのか。また、対象者の年齢は。

**問** がん検診事業は、従来から集団検診事業として行ってきたが、平成21年に経済危機対策で国が支援をする奨励事業として行い、平成22年度からは、がん対策の新たな事業と位置づけ、個別検診として行うものである。対象者は、子宮がんについては、20、25、30、35、40歳、乳がんについては、40、45、50、55、60歳に達した方にクーポン券を配布し、医療機関で検診を受けていただく。

**問** 平成21年度の「子宮がん」「乳がん」の受診率と平成22年度予算の財源内訳は。

**答** 受診率は把握していないが、受診者数は平成22年1月現在で、「子宮がん」の個別受診が118人、集団受診が232人、合計で350人。「乳がん」の個別受診が236人、集団受診が625人、合計で861人。受診者の総計は、1211人である。また、平成22年度予算の財源内訳は、2分の1が国庫補助である。

**問** 敬老会運営事業補助金について、補助金が80万円ほど増額されている要因は。

**答** 敬老会運営事業補助金は、各地に敬老会事業は各地において実行委員会方式で行われており、昨年からは佐原区が敬老会事業を復活させたことに伴い、各実行委員会の記念品、祝い品の統一を図ることによる増額である。

**問** 民生委員児童委員活動推進費768万5千円について、その内訳は。また、民生委員は個人負担による研修を行っているところが多い状況であるが、実態は。

**問** 民生委員児童委員活動推進費768万5千円について、その内訳は。また、民生委員は個人負担による研修を行っているところが多い状況であるが、実態は。

**問** 給食センターの統合に当たり、これまでの納入業者の取り扱いにどのように考えているのか。

**答** 現在の地元取引業者等については、5月以降に説明会を予定しており、その中で、今後どのような取引が可能なのかを確認しながら説明をしたい。

**意見** これまでの取引業者は中小の商店が多いことから、説明会の中では搬入組合を設立させる等の指導をしながら、地場産業の育成をお願いしたい。

**問** 語学指導推進事業について、外国語指導助手業務委託料2943万2千円の事業内容は。

**答** A.L.T講師8名を全小中学校に派遣するもので、小学校に延べ735日、中学校に延べ665日、研修会に5日、合計1405日の派遣を計画している。

**問** 国体運営事業については、国体開催時の宿泊施設の状況は。また、道路の混雑が予想されるが対応は。

**答** 国体運営事業については、国体開催時の宿泊施設の状況は。また、道路の混雑が予想されるが対応は。

**答** 宿泊人数は、延べで1万1279人を見込んでいます。香取市内での宿泊可能な施設は、水郷小見川少年自然の家を含め15施設あり、宿泊可能な人数は5350人で、全体の47.4%である。道路網については、ボート、カヌー、ハンドボールの競技関係者は車での利用が多いと見込まれるので、駐車場等までの誘導関係について現在調整を行っている。

**問** 姉妹校交流事業について、国際交流事業の一環として中学生をオーストラリア方面へ派遣する事業の派遣者数と期間は、また、派遣者の選抜基準と費用負担は。

**答** 事業の名称が「生産調整」から「需給調整」と変わったが、本市の特徴である湿地帯という条件に変わりはなく、大きな影響はないと考える。また、補助事業等の採択には、「需給調整」への協力が必要であり、引き続きこれまでと同様に農家への協力要請をしていきたい。



水郷佐原水生植物園で国体PR

**答** 中学生28名を9日間派遣する予定である。また、希望者数が派遣予定者数を大幅に超えた場合には、作文、面接等により選考したい。費用については、平成22年度は研修費として1人26万円程度を見込み、半分の13万円を市が助成する。

経済部関連の事項

**問** 畜産生産基盤育成強化事業、強い農業づくり交付金事業、園芸王国ちば産地強化支援事業等について、多額の補助金が支出されるが、これらの事業が香取市に与えるメリットは何か。

**答** 農家の生産基盤を強化することにより、生産額・収入の増加から所得がアップし、その結果、市民税や法人市民税、そして、建物を建設する場合に固定資産税の増収にも寄与するものと考えられる。

**問** 米政策改革事業について、新たな戸別所得補償制度は、香取市の農政にどのような影響を与えるか。

**答** 事業の名称が「生産調整」から「需給調整」と変わったが、本市の特徴である湿地帯という条件に変わりはなく、大きな影響はないと考える。また、補助事業等の採択には、「需給調整」への協力が必要であり、引き続きこれまでと同様に農家への協力要請をしていきたい。



田植え風景

**答** 4年前には、市民にわかりやすい形として一般財源に占める農業予算を10%確保するとして算らえ方は色々あると思うが、今後、市民にわかりやすい形を検討したい。

**問** 農産物輸出促進協議会補助金について、その成果や今後の予定は。

**答** 平成21年度は「香港・甘藷・なし」の販売、シンガポールは現地調査を行い、「甘藷」については輸出を行い、「米」については現地パイヤーと商談中である。22年度は、香港・シンガポールへの輸出を行う予定である。

**問** この事業に対する費用対効果の観点から事業の継続をどの様に考えているのか。一定時期に見直す必要があるのではないかと。国の補助事業の期間が3～5年であり、これを踏まえて継続することが必要と考える。

**問** 観光振興対策事業について、緊急雇用まちづくり型観光地づくり調査業務委託料の内容は。香取市内の観光の状況を明らかにし、今後の観光施策やまちづくり型観光を著実に推進するため、観光業者への意向調査、市域全体の地域の魅力発見・見直し調査、回遊動向調査、情報発信の基礎調査等を委託するもので、これにより11名の雇用を見込んでいる。

**答** 香取市内の観光の状況を明らかにし、今後の観光施策やまちづくり型観光を著実に推進するため、観光業者への意向調査、市域全体の地域の魅力発見・見直し調査、回遊動向調査、情報発信の基礎調査等を委託するもので、これにより11名の雇用を見込んでいる。

**問** 商業活性化支援事業のプレミアム商品券の発行について、平成21年度は15%のプレミアム率で発行したが、市民に広く行き渡るように、10%の率で発行枚数を多くすべきではないか。

**答** 商品券の発行については、佐原商工会議所・香取市商工会等で組織する実行委員会が決定されるものであり、購入枚数は、買占めがないよう1人5セツトまでと制限を設けている。企業誘致費については、これまでの経過と平成22年度予算の増額理由は、平成20年度は佐原区の本宿耕地への商業施設誘致の可能性調査、21年度は市内全域の企業立地向けの土地調査、22年度はこの土地調査を基にした、より戦略的な立地適地と条件整理を行うための調査を委託するもので、開発用地のインフラ整備の課題調査などを行う。

**問** 景観計画策定事業について、事業の具体的な内容は。

**答** 平成17年6月に全面施行された景観法に基づき景観計画を作成するものであり、平成22年度は、香取市全域の景観重要建築物・樹木・生垣などの基礎調査を行う。また、景観形成・活用事業として、農水省の両総用水第一導水路の護岸整備に伴う桜並木の保全のための整備計画を作成するものである。

**問** 市営住宅施設整備事業について、委託料958万7千円の内容は。

**答** 市営大戸団地A棟・B棟の大規模修繕を行うための設計業務委託料である。市は、PFI佐原リバー株式会社に対して、契約違反の観点から有償化を求めたことを検討しているとのことだが、議決と異なる状況について、議会へ報告すべきではないか。

**問** 景観計画策定事業について、事業の具体的な内容は。

**答** 平成17年6月に全面施行された景観法に基づき景観計画を作成するものであり、平成22年度は、香取市全域の景観重要建築物・樹木・生垣などの基礎調査を行う。また、景観形成・活用事業として、農水省の両総用水第一導水路の護岸整備に伴う桜並木の保全のための整備計画を作成するものである。

**問** 市営住宅施設整備事業について、委託料958万7千円の内容は。

**答** 市営大戸団地A棟・B棟の大規模修繕を行うための設計業務委託料である。市は、PFI佐原リバー株式会社に対して、契約違反の観点から有償化を求めたことを検討しているとのことだが、議決と異なる状況について、議会へ報告すべきではないか。

**問** 内容を検討したうえで、何らかの形で議会へ報告をしたい。

**問** 道路整備計画事業について、事業内容は橋梁長寿命化修繕計画策定に係る橋梁点検業務となるが、その対象となる橋梁の数は。

**答** 平成22年度は整備委託料4701万9千円、管理運営委託料3477万7千円をPFI佐原リバー株式会社を支払う。支出の財源内訳のうち、物販施設からの販売手数料収入の算出根拠は。

**答** 予想物販施設利用者33万2千人に、1人当たり1450円を乗じた額の5%として、2410万円を見込んでいる。

**問** 水辺交流センター内レストランへの出店予定業者の撤退に伴い、営業が見込めなくなったことによる影響はないのか。

**答** オープンしてみないとわからないが、物販施設の売上げへの影響はないと考えている。レストランについては、今後もPFI佐原リバー株式会社に開設を求めていく。

**問** 昨年12月定例会で、レストラン部分の施設の無償貸付を議決している。市は、PFI佐原リバー株式会社に対して、契約違反の観点から有償化を求めたことを検討しているとのことだが、議決と異なる状況について、議会へ報告すべきではないか。

**問** 内容を検討したうえで、何らかの形で議会へ報告をしたい。

**問** 道路整備計画事業について、事業内容は橋梁長寿命化修繕計画策定に係る橋梁点検業務となるが、その対象となる橋梁の数は。

**答** 平成22年度は整備委託料4701万9千円、管理運営委託料3477万7千円をPFI佐原リバー株式会社を支払う。支出の財源内訳のうち、物販施設からの販売手数料収入の算出根拠は。



水の郷さわらの水辺の風景

**答** 市内には429橋あり、平成21年度に219橋、平成22年度に166橋、平成23年度に144橋の点検を行い、平成23～24年度で修繕計画を策定するものである。

上下水道部関連の事項

**問** 水道事業会計の収入について、水道事業収益の県補助金と他会計補助金が大幅に減額となっているが、その理由は。

**答** 県の高料金対策補助金について、平成19～21年度の公的資金補償金免除による起債の繰り上げ償還に伴う借り換えにより、利子の削減が図れたこと。また、霞ヶ浦開発事業割賦負担金も同様の理由により利子負担の軽減が図れ、資本費が減少したため補助金の減額となった。

**問** 下水道事業債について、資本費平準化債とはどのようなものか。

**答** 下水道事業債は償還期間30年であるが、



玉造浄水場

下水道施設の耐用年数は50年であるため、その償還期間と耐用年数の差を考慮し、将来の財政負担との均等化を図ることに一般会計からの繰り入れや使用料への負担を減らすために設けられた制度である。  
**要望** 平成22年度予算については、事業によっては疑問点、課題をかかえているものもあり、すべてをよしとするものではないが、総括的には賛成する。市議会においても議員定数の削減をはじめ経費の節減に努めており、各事業の執行に当たっては市民の目線に立った取り組みを要望する。



伊能 敏雄 議員 (佐原木)

新議員紹介

平成22年4月18日に告示された香取市議会議員補欠選挙において、無投票で当選されました。

# 各常任委員会の審査から

常任委員会は、多様化し、複雑化していく香取市の事務を合理的かつ機能的に調査及び審査するために設置されたもので、本会議で付託された議案や請願・陳情の審査などを行っています。  
ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた主な質疑及び答弁・意見等について掲載します。

## 総務企画常任委員会

### 付託された案件

- 議案第21号 香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 香取市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 香取市奨学資金給付基金条例を廃止する条例の制定について
- 議案第28号 千葉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉縣市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 陳情第41号 直轄事業の地方移管をやめ、関東地方整備局の存続を求める陳情
- 陳情第42号 ぐらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情
- 陳情第45号 非核三原則の法制化を求める陳情

**問** 議案第27号 香取市奨学資金給付基金条例を廃止する条例の制定について、公立高校の授業料の無償化法案が国会で審議中にもかかわらず、なぜ、この条例の廃止を急ぐのか。授業料の無償化とは別に経済的に困っている家庭への奨学資金の給付は行うべきではないか。

**答** 授業料の無償化にかかるとる予算案は既に3月2日に衆議院で可決され、予算閣連法案として優先的に審議がされ、年度内に法律が成立される見通しのため、国会と並行しての議案として提出をした。また、経済的に困っている家庭への給付



山田中学校

については、千葉県の奨学金制度があり、その活用をお願いしたい。

**問** 近隣市町の奨学資金給付基金条例の対応と香取市の給付人数は。

**答** 近隣市町の状況は銚子市、匝瑳市、成田市、神崎町、東庄町、多古町には給付制度が無く、給付制度がある佐倉市、八千代市は廃止の予定、東金市は当分の間休止とし、4月からの給付はしない見込みである。また、平成21年度の給付人数は62名で、666万9千円の給付となっている。

**問** 陳情第41号 直轄事業

**答** 本陳情と同じ陳情者から類似した請願が平成21年3月定例会に提出され、不採択になっている。

**意見** 陳情第42号 ぐらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情について、地方分権改革により国の出先機関を廃止し、県・市に移管されることにより、住民への行政サービスの責任が果たせるか不安がある。国に対して要請をすべきである。

**意見** 陳情第45号 非核三原則の法制化を求める陳情について、アメリカのオバマ大統領が、チェコのプラハでの演説で、核兵器を使用した唯一の国として道義的責任があり、核兵器廃絶の先頭に立つと発言したこと。また、日本では「非核



小見川高等学校

三原則」を堅持すべきであるという意見がある一方で「非核2・5原則」といった後退する議論もされている。

**問** 高等学校の授業料の無償化等により保護者の経済的負担は軽減されることになるが、景気の低迷等によりまだまだ経済的な支援を必要とする保護者はいると思われる。このような状況を勘案し、給付制度の廃止に伴い貸付制度への移行は考えられないか。

**答** 貸付制度は千葉県教育委員会で行っている。内容は、公立高校の場合は月額1万8千円、私立高校では月額1万8千円又は条件により3万

円を貸付する制度であり、この制度の利用を周知したい。

**問** この廃止条例の制定は、国における高等学校授業料の無償化と私立高校の就学支援金の制度の創設に伴うものと考えるが、国において関係法案が決定される前に条例を廃止する理由は、高等学校授業料の無償化等にかかる予算について

## 福祉教育常任委員会

### 付託された案件

- 議案第26号 香取市奨学資金給付条例を廃止する条例の制定について



市道I-61号線 (栗原区岩部地先)

**問** 廃止になった路線は、どの様になるのか。

**答** 廃止路線I-61号線は、新たにI-61号線と7125号線に認定をし、廃止路線1117号線は、国道356号と接続し、起点の位置が変わることにより、いったん廃止し、新たに1117号線として認定する。

## 建設常任委員会

### 付託された案件

- 議案第29号 市道路線の認定及び廃止について

は、3月2日に衆議院で可決され年度内成立となる予定であり、法案については、予算閣連法案として優先的な審議が行われる見込みである。このことから、4月以降の廃止条例の制定では、給付事務に混乱を生ずる懸念があるため、国会審議と並行しての審議をお願いしたい。



# 経済環境常任委員会

## 付託された案件

- 議案第23号 香取市公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第24号 香取市廃棄物の適正処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第25号 香取市一般廃棄物の処理手数料に係る証紙に関する条例を廃止する条例の制定について
- 陳情第43号 公契約条例の制定を求める陳情
- 陳情第44号 最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情

いて、市と契約をした元請業者が、下請け業者へ仕事を回した場合に元請業者の自由意志で契約ができるのか。

**説明** 元請業者は、最低賃金法に基づき下請け業者との契約を行うこととなる。

**問** 野田市は、既に公契約条例を制定しているのとことであるが、他の自治体の制定状況は。

**説明** 県内では野田市一市であり、全国においても野田市のみである。

**意見** 公共事業は縮小の傾向にあり、これに伴う雇用環境も厳しいなか、公契約条例制定に向けての議会決議は早計でないか。

**問** 陳情第44号 最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情について、香取市としての中小企業への具体的な支援策はあるか。

**説明** 中小企業者への低利資金融資制度として、12億円の融資枠を設けている。

**討論** 陳情第44号に賛成の立場から、新政権となり、わが国の貧困率が明らかにされ、その中で経済格差が確実に広がっている状況が表れている。この陳情は、最低賃金の改正、雇用の安定、中小企業の支援策の拡充の3点が陳情の主旨であり、議会として国へ要請すべきではないか。

# 選任・選出された各委員会の委員・各組合議会の議員

## 総務企画常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 小川 春雄 |
| 副委員長 | 高木 丈寛 |
| 委員   | 谷田川 充 |
| 委員   | 林 信行  |
| 委員   | 坂部 勝義 |
| 委員   | 柳田 俊秀 |
| 委員   | 木内 誠一 |
| 委員   | 宇井 正一 |

## 経済環境常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 宇野 昭功  |
| 副委員長 | 奥村 雅   |
| 委員   | 久保木 宗一 |
| 委員   | 坂本 洋子  |
| 委員   | 林 幸安   |
| 委員   | 金親 孝夫  |
| 委員   | 平松大 建明 |

## 福祉教育常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 眞本 丈夫 |
| 副委員長 | 高木 典六 |
| 委員   | 鈴木 聖二 |
| 委員   | 田山 一夫 |
| 委員   | 菱木 康夫 |
| 委員   | 河野 節子 |
| 委員   | 堀越 博  |

## 議会運営委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 坂部 勝義   |
| 副委員長 | 鈴木 和彦   |
| 委員   | 林 信行    |
| 委員   | 田山 一夫   |
| 委員   | 菱木 康夫   |
| 委員   | 林 幸安    |
| 委員   | 平松大 建明  |
| 委員   | 根本 太左衛門 |

## 建設常任委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 伊藤 友則   |
| 副委員長 | 田代 一男   |
| 委員   | 鈴木 和彦   |
| 委員   | 高岡 正剛   |
| 委員   | 吉川 昭治   |
| 委員   | 増田 一男   |
| 委員   | 根本 太左衛門 |

## 成田国際空港対策特別委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 田山 一夫   |
| 副委員長 | 奥村 雅昭   |
| 委員   | 鈴木 聖二   |
| 委員   | 高木 典六   |
| 委員   | 高木 寛    |
| 委員   | 菱木 康夫   |
| 委員   | 宇野 功一   |
| 委員   | 根本 太左衛門 |

## 議会報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 伊藤 友則 |
| 副委員長 | 田代 一男 |
| 委員   | 谷田川 充 |
| 委員   | 奥村 雅昭 |
| 委員   | 鈴木 聖二 |
| 委員   | 高木 典六 |
| 委員   | 坂本 洋子 |

## 香取広域市町村圏事務組合議会議員

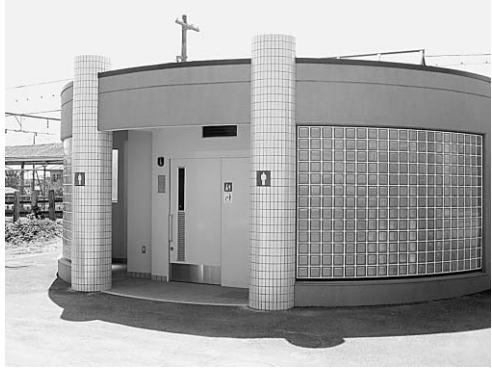
- |       |
|-------|
| 田代 一男 |
| 林 信行  |
| 坂部 勝義 |
| 柳田 俊秀 |
| 増田 一博 |
| 堀越 博  |

## 香取市東庄町病院組合議会議員

- |        |
|--------|
| 谷田川 充  |
| 鈴木 聖二  |
| 高木 典六  |
| 高木 寛   |
| 眞本 丈夫  |
| 菱木 康夫  |
| 久保木 宗一 |
| 坂本 洋子  |
| 宇野 功一  |
| 河野 節子  |
| 木内 正一  |
| 宇井 正一  |

## 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

- |       |
|-------|
| 眞本 丈夫 |
|-------|



小見川駅前公衆便所

**問** 廃棄物の処理業務が香取広域市町村圏事務組合へ移行することに伴い、当該経費についても併せて同組合予算に計上することとなるが、組合構成団体による協議過程のなかで、予算と

**問** 香取市の公衆便所の整備状況は。

**答** 市内に14カ所の公衆便所が設置されている。観光客に利用されている公衆便所については整備を進めているが、中には汲み取り式や老朽化した施設もあることから、今後、整備に努めたい。

**問** 新年度の4月から廃棄物の処理業務が香取市から香取広域市町村圏事務組合へ移行することに伴い、当該業務経費が同組合の新年度予算へ計上される。このことから、ごみの分別や収集方法については同組合で協議決定されるべきではないか。

**問** 併せてごみの分別や収集方法について協議を行い、決定したものである。

**討論** 議案第24号、第25号について、市民への身近な行政サービスであるごみの収集業務が香取広域市町村圏事務組合に移行すると、市議会での十分な議論がされなくなる。また、サービスの低下を招くおそれがあることから、両議案に反対する。

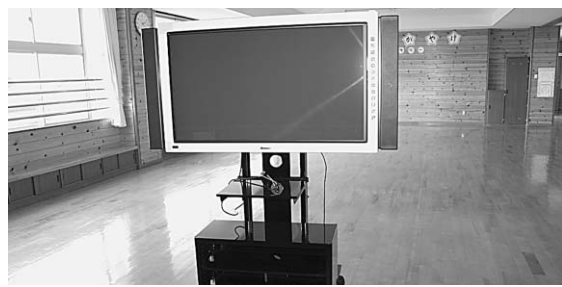
**問** 陳情第43号 公契約条例の制定を求める陳情について、

# 3月定例会 上程議案等議決結果

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数

議案番号	件名	結果
議案第1号	平成22年度香取市一般会計予算	原案可決○
議案第2号	平成22年度香取市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決○
議案第3号	平成22年度香取市老人保健事業特別会計予算	原案可決○
議案第4号	平成22年度香取市介護保険事業特別会計予算	原案可決○
議案第5号	平成22年度香取市居宅介護サービス事業特別会計予算	原案可決○
議案第6号	平成22年度香取市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決○
議案第7号	平成22年度香取市観光事業特別会計予算	原案可決○
議案第8号	平成22年度香取市下水道事業特別会計予算	原案可決○
議案第9号	平成22年度香取市土地取得事業特別会計予算	原案可決○
議案第10号	平成22年度香取市火葬場事業特別会計予算	原案可決○
議案第11号	平成22年度香取市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決○
議案第12号	平成22年度香取市水道事業会計予算	原案可決○
議案第13号	平成22年度香取市簡易水道事業会計予算	原案可決○
議案第14号	平成21年度香取市一般会計補正予算(第6号)	原案可決◎
議案第15号	平成21年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決◎
議案第16号	平成21年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決◎
議案第17号	平成21年度香取市観光事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決◎
議案第18号	平成21年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決◎
議案第19号	平成21年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決◎
議案第20号	平成21年度香取市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決◎
議案第21号	香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決○
議案第22号	香取市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎

議案番号	件名	結果
議案第23号	香取市公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第24号	香取市廃棄物の適正処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決○
議案第25号	香取市一般廃棄物の処理手数料に係る証紙に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決○
議案第26号	香取市奨学資金給付条例を廃止する条例の制定について	原案可決○
議案第27号	香取市奨学資金給付基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決○
議案第28号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決○
議案第29号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決◎
議案第30号	業務委託契約の締結について(香取市情報通信基盤(光回線)整備業務委託)	原案可決◎
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案同意◎
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案同意◎
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案同意◎
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案同意◎
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案同意◎
諮問第6号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案同意◎
発議案第1号	非核三原則の早期法制化を求める意見書について	原案可決◎
発議案第2号	成田国際空港対策特別委員会の設置について	原案可決◎
発議案第3号	議会報編集特別委員会の設置について	原案可決◎
陳情第41号	直轄事業の地方移管をやめ、関東地方整備局の存続を求める陳情	不採択 △
陳情第42号	くらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情	不採択 △
陳情第43号	公契約条例の制定を求める陳情	不採択 △
陳情第44号	最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情	不採択 △
陳情第45号	非核三原則の法制化を求める陳情	採 択 ○



電子黒板機能付デジタルテレビ

その整備概要については、次のとおりです。  
 ①電子黒板機能付デジタルテレビを全ての小中学校に1台ずつ整備

## 2月臨時会 上程議案等議決結果

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数

議案番号	件名	結果
議案第1号	財産の取得について(平成21年度学校情報通信技術環境整備備品)	原案可決◎
議案第2号	財産の取得について(香取市立小中学校理科教育等設備整備備品)	原案可決◎
報告第1号	専決処分の報告について(損害賠償)	

本案件についての提案理由を市長が述べた後、1名の議員から質疑がありました。その後、委員会付託を省略し採決を行った結果、原案のとおり可決されました。

## 市議会を傍聴してみませんか。

次回の定例会は6月に開催されます。日程などのお問い合わせは議会事務局まで

TEL 50-1217

## 市議会会議録がインターネットで閲覧できます。

香取市のホームページ、市議会の「会議録」をクリックすると開きますので、ご覧ください。定例会・臨時会の会議録が閲覧できます。単語や発言者などのキーワードを入力、または閲覧年を選択すると、目的の会議録が検索できます。検索システムの更新は、次回定例会の開催までに行うため、今定例会会議録の更新は5月下旬になります。香取市のHP <http://www.city.katori.lg.jp/> から市議会のページを選択するか、香取市議会HP <http://www.city.katori.lg.jp/gikai/> からご希望のアイコンを選択して情報をご覧ください。

平成22年2月臨時会が2月9日に開会されました。

すべての小中学校に電子黒板機能付デジタルテレビなどを整備